



🔔 2018年度後期が始まりました！

例年のない猛暑にもかかわらず、前年同期を上回る延べ受講申込数3700名を超す応募をいただきました(うち新規申込は360名)。受講申込者数は、前期・後期を通じて過去最多、新規の申込者も後期では最多となりました。一方、2016年前期より、2ヶ台になっていた抽選対象講座数が、後期は9講座・WSと減少しました。

受講申込者数の増加、講座申込みの選択肢の広がり、受講生の皆さまの旺盛な学習意欲、充実したカリキュラム編成(テーマ・内容)、魅力ある新規講座の開設、地域へのアカデミーの知名度浸透等があるのとおもわれます。

後期はまた、楽しい行事が相次いで開催されます。

・11月3日(土)・4日(日)・18フェスタ(学園祭)、12月15日(土)開学25周年記念、3月受講生のつどい(謝恩会)など、アカデミーの大きな行事が開催されます。初めて受講される皆さまも是非、イベントをお楽しみください。

開学 25 周年記念

かわさき市民アカデミーは、
1993年秋に開学し今年秋で25周年となりました。

これまでアカデミーの発展にご支援とご協力を賜った関係者の皆様へ感謝の意を表すとともに、アカデミーの歩み・想いを残すため記念講演会・式典・パーティーを行います。

開催日時 2018年12月15日(土)

講演会 開会 14:00 川崎市生涯学習プラザ 401

式典・パーティー 開会 16:00 ホテル精養軒

※ 詳細は、後日ご案内チラシでお知らせします。

🔔 2018年度8月度 理事会 報告 - 8月31日(金) 15:00 開催

1) 主な報告事項

- ・18年度後期受講申込状況について
- ・18年度前期代表世話人会議の報告
- ・地域貢献活動支援委について

2) 主な審議事項

- ・受益者負担の徴収ルールについて
(講座・WSの資料代の徴収について)
- ・抽選制度改定(案)について

※ 抽選制度が改定されます。

改定案が審議され、2019年度前期から実施されます。

※ 資料代の徴収方法が変更になります。

代表世話人会議での了承を経て、資料代の改定案が審議され、2019年度前期より実施されます。



実りの秋!

フェスタ'18

11月3日(土)・4日(日)

**フェスタ講演会は、
スーパーJチャンネルの萩谷 順氏!**
テーマは
「ポスト団塊世代日本人はどう働くか」
少子高齢化時代、子や孫に真に豊かで安定した社会を残せるかお話しいただきます。

講座・WSの企画・今年も増えました!

毎年充実した内容の「環境とみどり」の活動成果、「政治・社会」WSの公開グループ討論と展示、芸術WS受講生の油彩・水彩画、「おもしろ実験クラブ」の『紙すき』に加え、日本史受講生企画の「気象予報士の日本史」が新たに仲間入りしました。

受講生が活躍! 活動グループが一堂に会します!

川崎市にある数多くの多彩な活動グループでは受講生が活躍しているのをご存じですか? 今年は各分野のグループが集まり、活動紹介をします。学ぶ楽しさだけでなく、地域貢献の楽しさの場も見つけられますよ。

地域の団体・グループ等の協力に感謝!

中原区文化協会は多様な文化活動の発表やワークショップ。
また、社会福祉法人しいの実会とNPO法人たかつdeほっと手作りお菓子の販売、J Aセレサの地場野菜や花卉、社会福祉法人はぐるまの会の野菜販売などがあります。

今年の掘り出し物は?

古本市・バザーやります!

その他、沢山の企画を用意しています。詳細は、プログラムをご覧ください。

フェスタ・受講生のつとめ

《サポートスタッフ大募集》

古本市・バザー・受付・会場の準備等、お手伝いいただける方

申込用紙はNPO事務局内に用意してあります。

※問い合わせ先 NPO事務局 電話 044-733-5590

📌 話題の講座のご紹介

地域協働講座 「身近な課題を学び、地域で活かす」

公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室長 岩瀬 正人

アカデミーの中では、地域協働講座はちょっと異質な存在です。それは、当財団とNPO 法人かわさき市民アカデミーで構成する企画委員会でカリキュラムの作成・運営等を行っているからです。テーマは教育、福祉、企業連携等多岐に渡りますが、狙いは地域人材の活用と学習成果の地域への還元です。

例えば、教育の分野では、思春期の子育てをテーマに、現代の子どもたちを取り巻く環境や、大人社会が子どもに与えている影響などを学びました。また、「復活」をテーマにした講座では、「葬儀」や「お墓」を題材にするなど、学んだことを生活や地域の中で活かせる内容が特色です。これからも、実践的で魅力ある講座の企画に努めてまいります。

皆さまのご参加をお待ちしています。



教育講座の授業の様子

📌 話題の講座のご紹介

講座16 建築と都市 『記憶の旅』を講座で楽しみましょう

世話人 樽林 昌治

受講生の皆様方の大方の年齢層を踏まえ、今日まですべての面で多くの経験と記憶(歴史)を持ち現在に至って居ることと思います。アカデミー全講座で講師のお話と、自分の持っている記憶を重ねての心の旅、如何でしょうか“うん、同じだなー”“ちょっと違うかな”“新しい発見が出来たかな”等々更なる知識欲に繋がると思います。海外旅行経験多数の方もいらっしゃると思いますが、18前期「地中海の都市と建築」でヴェネツィア～



ヴェネツィア

ヴェネト～トスカーナ～プーリア～アマルフィ～東方イスラム～シチリア～サルデーニャ～トルコ～アンダルシア～西方イスラム等、地中海各都市の陣内研究室(陣内教授、稲益研究員、新井教授)の調査の素晴らしい映像と講義をいただき、大変楽しく受講しました。

後期は『明治の都市と建築』ですので、心新たに受講しましょう。

📌 代表世話人のご紹介

WS-2 社会福祉「代表世話人を引き受けるにあたって」

代表世話人 吉田 悠治

平成17年の退職時に某社会福祉法人に関わることになりました。当時の私は社会福祉について一般常識は持ち得ても、専門知識に乏しかったので、かわさき市民アカデミーが主催する社会福祉の講座を受講してから今日に至っております。

この間、授業には熱心に受講していましたが、講座運営等の実務面への貢献では褒められたものではありません。偶々昨年末担当理事から世話人就任の打診を受けたのを機に協力姿勢へと転換しました。

社会福祉は全ての人がある人生で何らかの関わりを持つものですが、健康な時は横目で見ても素通りしてしまうようです。実際私の属する社会福祉の受講者数が常に定員割れとなっているのもこの所為かとも思います。

私は1人でも多く社会福祉に真正面から取り組んで頂けるよう、微力ながら頑張るつもりです。



懇親会にて

🔔 データで見る「アカデミーに貢献した人たち」その①—運営代表世話人編—

アカデミー存続・発展の基本は、言うまでもなく学習内容の充実にあります。私たちは創設から今日までの25年間、常にそれを運営の基本に据えて活動してきました。そしてその実現には、学習内容を考え、それをカリキュラムにまとめ上げたコーディネーターの力と、カリキュラムに沿って受講生の期待に違わぬ講義を続けた講師の力と、日々の講座・ワークショップ(以下、WS)運営の要となり、受講生の声をコーディネーターや講師に伝え、受講生の要望をカリキュラムに反映させるべく活動した運営代表世話人の力によるところが大きかったと考えています。

アカデミー創設25周年にあたり、「かわら版」でもこれらアカデミーの発展を支えてきた方々の努力の跡を振り返ってみたいと思います。第1回目の今回は、運営代表世話人編です。記録を見ると、アカデミーがNPOによる運営に移行してから今日までの11年間、運営代表世話人として名前が残っている方が116名、同じ方が複数の講座・WSで運営代表世話人を務めている場合もあるので、延べ人数で言うと163名いらっしゃいます。「運営世話人の手引き」では「代表世話人は2年程度で交代できることが理想です」と謳っているのですが、代表世話人も半数以上が2年以内で交代していますが、中には長年にわたって運営代表世話人を務めておられる方々もいらっしゃいます。その方々のお名前をご紹介します。

- 07年～現在：折居晃一さん(人間学)、左中功夫さん(国際関係)、高田裕司さん(みどり学Ⅰ)、07～14年：岡毅一郎さん(経済WS)、07～13年：大森由貴子さん(カウンセリング)
- 08年～現在：岩野博さん(美術Ⅰ・ⅡWS)
- 09年～現在：斉藤弘さん(みどり学Ⅱ)、09～18年前期：浜島輝巨さん(日本史)、09～16年：故石塚勤さん(文学)、09～15年：八木洋一さん(環境とみどり)、09～15年：故水流哲郎さん(エクセレントⅠ・Ⅱ)
- 10年～現在：清水敏幸さん(川崎学自然Ⅰ)、10後期～13前期・14後期～現在：古田真由美さん(映像・メディア)
- 11～17年：海部康人さん(音楽Ⅰ)
- 12年～現在：北川まどかさん(美術Ⅱ)、大鳥静夫さん(芸術WS)
- 13年～現在：河野千秋さん(美術Ⅰ)、13～17年：富本直一さん(いのちの科学)

皆様方、長い間ありがとうございました。心から感謝申し上げます。代表を退かれた皆様、本当にお疲れ様でした。今期も代表を続けられる皆様、引き続きよろしくお願いいたします。

以上の方々をはじめ、これまで100人を超える多くの運営代表世話人の献身的な働きに支えられて、アカデミーの講座・WSは大きく発展してきました。また、各講座・WSで代表世話人を支え運営に尽力してくださった、多くの世話人の皆様の熱心な働きも決して忘れてはなりません。

編集後記

アカデミー25年の歩みを振り返る記事をまとめるために、昨年からアカデミーに保存されている数多くのデータや記録文書を読み返しました。

そこに見たのは、これまでアカデミーに関係した大勢の方々が、その時々課題に真剣に向き合い、労をいとわずその解決に努めたという事実でした。

昔の諺をもじって言うなら、「アカデミーは一日にして成らず」。それを実感しました。(K.T)

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会
編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41
川崎市生涯学習プラザ 3F
電話：044-733-5590
FAX：044-722-5761
問合せメールアドレス：
info@npoacademy.jp
ホームページ：
http://npoacademy.jp/